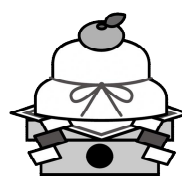




1月給食だより



令和7年12月19日
陸別町給食センター

学校給食週間について

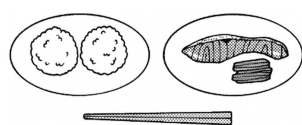
1月24日から30日は全国学校給食週間です

明治22年に始まった学校給食は、戦争により一時中断しましたが、アメリカのLARA（アジア救済公認団体）などの物資援助を受けて再開されました。昭和21年12月24日に給食物資の贈呈式が行われ、その後、給食の意義や役割について理解や関心を深める週間として、冬休みと重ならない1月24日～30日が「全国学校給食週間」になりました。

学校給食の歴史

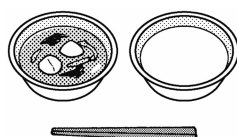
【明治22年】

山形県の忠愛小学校で、家が貧しい子どもたちに無償でおにぎり、塩さけ、漬物を提供されたことが学校給食の始まりとされています。



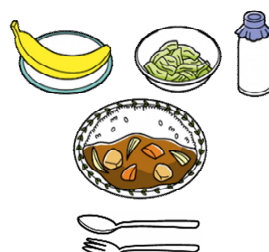
【昭和22年】

ウラの物資援助を得てトマトシチュー、ミルク（脱脂粉乳をお湯で溶かしたもの）が提供されました。



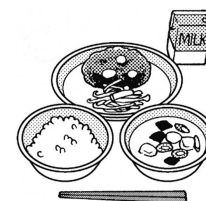
【昭和52年頃】

米飯給食が導入され、メニューが多様化し、献立内容が充実してきました。



【現在】

地域の食材が豊富で栄養バランスが良く、毎日食べている給食を通してたくさんのことを学んでいます。



『陸別町農業協同組合』様から、『長芋』40kgを寄贈していただきました！

（1月16日の「ながいもの炒め物」及び1月22日の「揚げながいも」に登場します！）



給食開始日について

保育所は1月8日（木）、小学校・中学校は14日（水）から給食の提供がスタートします。

今年度も、残すところあと3か月となりました。

引き続き、毎日の給食時間が待ち遠しくなるような、魅力ある給食作りに努めていきたいと思っています。

本年もよろしくお願いいたします。